

12月25日開館 市立児童会館

愛称「こらくる」に決定



児童会館完成イメージ

市は、12月25日に開館する市立児童会館(御願塚6)の愛称を「こらくる」に決定しました。計1千98件の応募があり、愛称選考委員会の審査で決定しました。

命名者は浜口直樹さん(神奈川県横須賀市)。「こらくる」は同館が、子どもたちを始め、多くの利用者が来る施設(子ら十来る)になるとともに、利用者が楽な気持ちで楽しく過ごし、幸せ(ラック)が訪れることを願って名付けられ、同館の愛称に最もふさわしいと選ばれました。浜口さんには、感謝状と記念品を進呈します。

10月1〜14日受け付け 市営住宅入居者を募集

市は、市営住宅の入居者を次の通り募集します。
【戸数】20戸。
【間取り】1DK〜4DK。
【応募要件】現在、住宅に困り次の全てに該当する人(申し込みは1世帯1戸)。
▽現に同居しているか同居しようとしている親族があり、その家族構成が夫婦(内縁関係・婚約者含む)か親子を主体としたもの▽申込者本人が市内在住か在勤者▽住民基本台帳に記載されている▽※政令月収額が15万8千円以下(一部住宅は11万

4千円以下)、障がい者などの世帯は21万4千円以下(一部住宅は13万9千円以下)▽円満な共同生活を営める▽暴力団員でない。
市営住宅や市内の県営住宅(借り上げを除く)入居者は申し込み不可。一部住宅では単身世帯(満60歳以上や障がい者など要件あり)申し込み可。
募集案内書は市ホームページからダウンロード可。
10月1〜14日に上下水道局3階の市営住宅管理センターや市役所5階の住宅政策課、各支

間を次の通り変更します。
【開所時間】午前9時半〜正午、午後1時半〜4時。
【対象施設】▽子育て支援センター内▽わかばこども園内▽さくらだいのこども園内▽むつくむつくルーム。
* * *
市営住宅や市内の県営住宅(借り上げを除く)入居者は申し込み不可。一部住宅では単身世帯(満60歳以上や障がい者など要件あり)申し込み可。
募集案内書は市ホームページからダウンロード可。
10月1〜14日に上下水道局3階の市営住宅管理センターや市役所5階の住宅政策課、各支

市政見る聞く 審議会を開催

◆第2回市いじめ防止等対策審議会 10月15日(木)午後3時、総合教育センター2階の研修室で開催。
議題は「いじめアンケートの結果について」、「いじめ防止方策」。

◆市有地を売却 市は、市有地を一般競争入札で次の通り売却します。
▽入札日 11月9日(月)①午後2時②3時③4時▽会場 総合教育センター2階の研修室▽売却予定地 ①中野北4-17-2(7千384平方メートル)②山田1-102(2他1筆、126平方メートル)③荻野西1-28-2(78平方メートル)▽最低売却価格 ①6億6千200万円②1千850万円③860万円。
10月1日から市役所2階の管理課で配布する申込用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を書いて、10月23日までに直接、同課(☎780・3535)へ。

◆外国人児童の市立小学校入学希望者は手続きを 平成26年4月2日〜27年4月1日に生まれた市内在住の外国人児童で、来年4月に市立小学校に入学を希望する人は、10月15日までに印鑑と「在留カード」、「特別永住者証明書」、「住民票の写し」のいずれかを持って直接、市役所4階の学事課へ。
◆在日外国人学校就学補助金を支給 在日外国人学校に在学する児童などの就学補助金を支給します。対象などは次の通り。
▽対象 市内在住で、在日外国人学校(幼稚園、小・中学校相当)に在学する外国人児童などの保護者▽支給額 幼稚園相当6万2千円、小・中学校相当8万5千円。
* * *
市役所5階の住宅政策課(☎784・8006)へ。

10月30日までに申し込みを 特定生産緑地

生産緑地は、指定後30年を経過すると、いつでも買い取り申し出が可能となる一方、固定資産税が農地課税から宅地並み課税に、また相続税などの納税猶予の対象外になります。市は、都市農地の保全を図るため全ての生産緑地に対し、「特定生産緑地」の指定を目指しています。
対象は平成4年度に生産緑地に指定された農地の所有者。生産緑地の指定から30年経過した場合、特定生産緑地に指定することはできません。税制特例措置継続のために早めの申し込みをお願いします。
10月8日に対象者に送付した申込書類に必要な事項を書いて、同封の返信用封筒で10月30日(必着)までに市都市計画課(☎784-8067)へ。

新型コロナウイルス感染症対策 寄付ありがとうございます

次の皆さんから寄付がありました(50音順)。
▷新日本空調機大阪支店▷三菱電機機高周波光デバイス製作所▷明治安田生命保険相互会社。

◆市有地を売却 市は、市有地を一般競争入札で次の通り売却します。
▽入札日 11月9日(月)①午後2時②3時③4時▽会場 総合教育センター2階の研修室▽売却予定地 ①中野北4-17-2(7千384平方メートル)②山田1-102(2他1筆、126平方メートル)③荻野西1-28-2(78平方メートル)▽最低売却価格 ①6億6千200万円②1千850万円③860万円。
10月1日から市役所2階の管理課で配布する申込用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を書いて、10月23日までに直接、同課(☎780・3535)へ。



伊丹の豊かな自然環境を未来へ

私は市長就任以来、市内の自然環境の保全再生に力を入れています。
我が国では、20世紀後半の高度経済成長期、都市化が急速に進み、本市を含め大都市近郊では身近な自然環境が失われてきました。私はこれからの時代は損なわれた自然環境の再生が必要と感じ、市民の皆さんにも協力をお願いし、さまざまな取り組みを進めてきました。
そして、2016年、国土交通省の「都市の生物多様性指標」に基づき、民間シンクタンクが自治体ランキングを発表したのですが、その中で「生物多様性保全の取り組み状況の評価」において、本市は全国1位(66自治体中)となりました。
自然再生は一朝一夕にできるものではありませんが、石の上にも十年、市民の皆さんの活動が具体の成果として形になってきました。
昆陽池公園ではホテルが飛び、オニバスが花を咲かせ、島の樹林も再生されつつあります。さらに今年もフクロウの仲間、アオバズクが繁殖に成功し、3年連続でひなが巣立ちました。猪名川にはアユが遡上するようになりました。また、きれいな水質を好み、専ら川の上流に生息する国指定特別天然記念物、オオサンショウウオが発見されています。
他にも、専門家の協力を得、瑞ヶ池公園などにおいて、伊丹の

原風景、猪名野笹原をイメージしたモデル園を整備しました。百人一首にも詠まれた植物がよみがえり、花が咲いています。当面するコロナ禍に適切に対応するとともに、その後の新しい日常においては、人と自然が共存し、地球環境にも配慮した持続可能な循環型社会への移行が求められます。
今後とも伊丹らしい豊かな美しい自然環境を次の世代に引き継ぎ、市民の皆さんの理解と協力を願います。(市長 藤原保幸)